

第 18 回 FD ワークショップ(授業デザインWS⑩)
評価・採点きじゅん表(ルーブリック)を用いたレポートの評価
—初年次教育を中心に—

各授業には到達目標があり、そこに受講生が到達しているかを規準に成績評価が行われます。成績評価の手段には、授業内容の理解と定着を確認するテストの他に、授業で学んだことをもとに論じることができるかを確認するレポート課題、考察したことを発表するプレゼンテーションなどがあります。

レポートやプレゼンテーションの評価・採点には「主観が入りやすい」と言われることがあります。それは評価・採点にあたって何を重視するか(規準)と、どの程度のパフォーマンスにどの評定を与えるか(基準)が、人によって異なる場合が少なくないからです。予め、評価・採点の規準と基準を共有しておくことで、レポートやプレゼンテーションの採点・評価の信頼性を高めることができますが、そのための道具として用いられるのが「ルーブリック(評価・採点きじゅん表)」です。

本学では、全学的な到達目標による質保証枠組みのもとでの初年次教育の実施に向けて、平成 29 年度から試行が行われます。それに先立ち本 WS では、過去に学生が執筆したレポートを使って評価・採点きじゅん表(ルーブリック)を使ったレポート評価について検討したいと思います。お忙しい中とは存じますが、どうぞふるってご参加ください(なお、平成 29 年度の「全学的質保証枠組みでの学士課程導入教育科目の試行」にご協力いただく先生方には、特に是非ともご参加いただきますようお願いいたします)。

開催日時:2017 年 2 月 16 日(木)(午後 13 時 30 分～14 時 30 分)
2 月 17 日(金)(午後 13 時 30 分～14 時 30 分)

(*事例紹介以外は同内容。どちらか片方にご参加ください。)

開催場所 : 大阪市立大学 杉本キャンパス
全学共通教育棟 2階会議室

プログラム: (1)「ルーブリックとは何か」
(西垣順子・大学教育研究センター)

(2) **事例紹介**
「経済学部基礎演習における論文採点基準表の活用」
(16 日)(橋本文彦・経済学研究科教授)
「生活科学演習におけるルーブリック開発」
(17 日)(野村恭代・生活科学研究科准教授)

(3) **レポート採点きじゅん表を使ってみる**

進行: 西垣順子(大学教育研究センター)

※当日参加も歓迎いたしますが、準備の都合上、事前申込み(ご所属・お名前・ご連絡先)をいただくと助かります。【事前申込先】大学教育研究センターcenter@rdhe.osaka-cu.ac.jp

主催: 大阪市立大学大学教育研究センター 共催: 初年次教育運営委員会

(企画: 西垣)